

中国景気、成長目標を達成も力強さ欠く

ポイント① 2023年の成長目標を達成

中国国家統計局が17日に発表した2023年10-12月期の実質GDPは、前年同期比+5.2%となりました。中国政府の支援策が景気を下支えしたほか、比較対象となる前年同期が新型コロナウイルスの感染拡大で低成長に留まった反動もあり、7-9月期（同+4.9%）から伸びが加速しました。2023年通年の実質GDP成長率は前年比+5.2%と、政府が掲げた成長目標の「+5%前後」を達成しました。

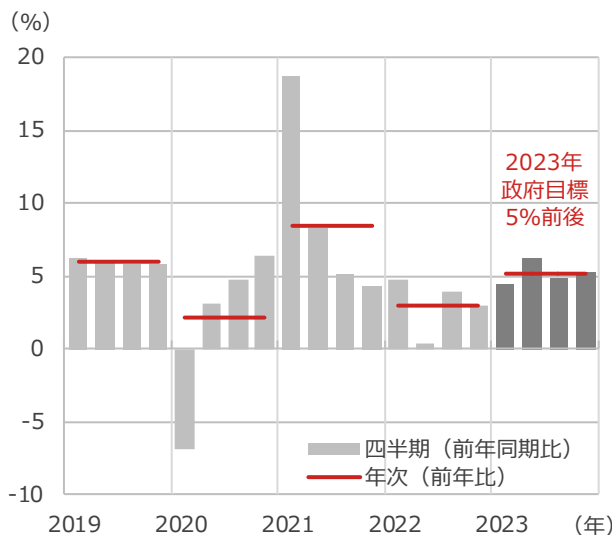
ポイント② 力強さに欠ける中国景気

もともと、中国景気は力強さを欠く状況が続いています。同日発表された中国の12月の主要経済指標を見ると、鉱工業生産指数が前年同月比+6.8%と市場予想（同+6.6%）を上回った一方、小売売上高は同+7.4%と市場予想（同+8.0%）を下回り、期待されていたほどの強さではありませんでした。他方、2023年通年の不動産開発投資は前年比-9.6%と大幅に落ち込みました。

ポイント③ 景気回復の持続性に注目

これらの経済指標を受け、中国景気の先行き不透明感が高まったことから17日の中国株式市場は下落しました。今後は、2024年も中国の景気回復が続くかが注目されます。中国ではEV（電気自動車）の需要拡大などを背景に自動車製造をはじめとした生産が安定しつつあることから、個人消費が腰折れしないことと不動産業界の改善が、景気回復の持続に求められます。目先は2月10-17日の春節休暇の際、中国国内で旅行や飲食、ショッピングといった消費活動が盛り上がるかに市場の関心が集まります。

中国の実質GDP（国内総生産）成長率



期間：四半期 2019年1-3月期～2023年10-12月期、四半期
年次 2019年～2023年、年次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

中国の主要経済指標



期間：2019年1月～2023年12月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要 イベント	1月31日	中国製造業/非製造業PMI (購買担当者景気指数、1月)
	2月8日	中国CPI (消費者物価指数、1月)

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。